

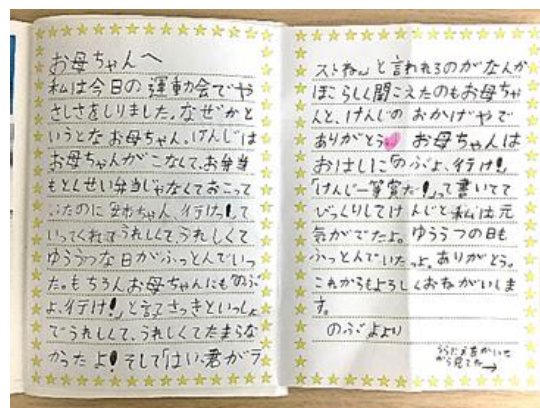
### 国語【発展コース】 担当：岡村

「書く」という活動は、自分の考えや気持ちを表現するために磨いていかなければいけない“力”です。今回は1枚のラーメンの写真をを使って表現力のアップに挑戦しました。

「おいしそうなラーメン!」、「食べたい!」と、この写真を見た瞬間につぶやいたみんなでしたが、ここで、その表現では物足りないということをお伝えしました。「おいしそう!」、「食べたい!」を使わずに、このラーメンの魅力伝えることはできないのか、何か別の表現がないのかを、みんなに問いました。「週6で食べに行きたいラーメン」、「食べたらずみつきになるラーメン」、「食べたしたら止まらないほどの味」など、みんなが考えてくれた言葉の数々に思わず唾をゴクリと飲み込んだ私でした。その後の活動として、4年生の目標を作文に綴ったのですが、2枚の原稿用紙を一気に書き上げた姿は見事でした。

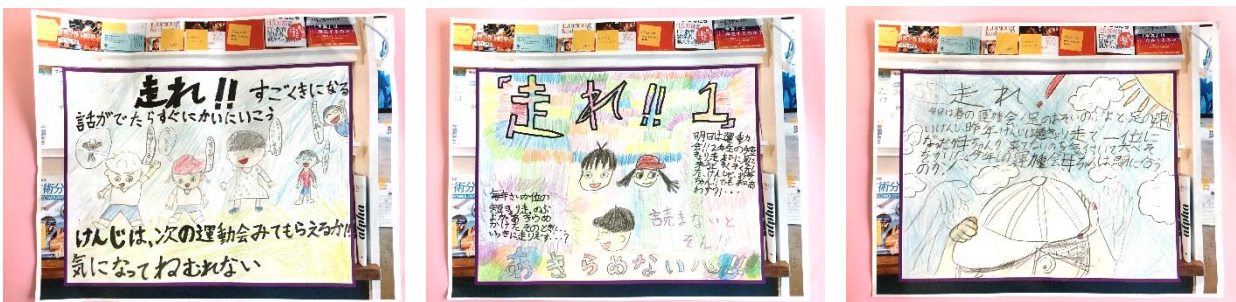


物語「走れ」の学習では、登場人物の【のぶよ】と【けんじ】の気持ちに寄り添っていく中で、家族の大切さ、応援してもらえることの幸せに気づいていくことができました。学習のまとめとして、【のぶよ】と【けんじ】になりきって【お母ちゃん】に手紙を書きました。つつい甘えて【お母ちゃん】に強く当たってしまうところに、どこか心当たりがあるのか、「ごめんね!」と「ありがとう!」がいっぱいの、あったかいお手紙を書くことができました。



学習のまとめとして、POPづくりに取り組みました。

「本屋さんに来た人に手に取ってもらうには?」、「あらすじを書くなら、ちょっとだけにしたい方がいいと思う!」、「『泣きたい夜にこの一冊!』とかは?」など、いろんな意見のやり取りをしながら、ここでもやはり表現力アップに力を入れました。出来上がったポップですが、本屋さん採用してもらいたいぐらいの力作ぞろいです(\*~\*)



各コースでの取り組みや授業の様子、英語の最新情報、中学入試についてなど、様々な情報をお知らせさせていただくため、月に1回程度『コース通信』を発刊いたします。今号では、『各教科での活動(6月分)』『2020年度入試を振り返って』を掲載します。

### 国語【進学コース】 担当：山本

6月は、村中李衣作の「走れ」という物語文を学習しました。

中心人物の変化をとらえることを目標に、登場人物である【のぶよ】【けんじ】【お母ちゃん】の気持ちの変化を、読み進めていきました。特に、第2場面は、3人の思いがすれ違い、空回りし、複雑に絡み合う長い場面です。【のぶよ】【けんじ】【お母ちゃん】の気持ちを考える3グループに分かれ討論しました。それぞれのグループからは、「『ぎりぎりまで』というこの言葉から、【のぶよ】はいらいらしていたんじゃないかな。」「『むねをはって』いるから、【お母ちゃん】は、お弁当を自信満々に見せているよね。」「『え、これなの?』と言っているからけんじは、お弁当にもがっかりしてるよ。」と、活発な意見が飛び交いました。その後、グループでの考えを書いた紙を見せながら、話し合った結果を発表し合いました。【けんじ】と【お母ちゃん】の思いのはざまにいる主人公【のぶよ】の思いを、よく読み取ることができました。

これからも、言葉を大切にしながら、物語の世界を楽しく読み進めていきたいと思えます。



### 理科 担当：市原 進学コース演習：朝井

進学コース・発展コースとも市原が週3時間、同じ授業を行っています。進学コースは、それに加えて朝井による週1時間の演習があります。

共通内容の学習として、6月は、まず、天気と一日の気温の変化について学習しました。実地の体験では、運動場に出て、雲の量で、晴れとくもりのちがいをとらえました。また、晴れた日は、一日の気温の変化が大きく、気温も高くなり、くもりや雨の日はあまり気温が上がらず、変化も小さいということから、記録温度計のグラフを読み取ってその日の天気を考えることを行いました。次に、一年間の自然の変化の学習として、校内の動植物の観察に加えて『ぼくの木、わたしの木』を決めて、i-padに現在のようすを記録しました。また、雨の日に水が溜まりやすいところやすぐに乾くところのちがいを考える中から、土や砂は、粒が大きいほど水がしみこみやすいことを自分たちで実験セットを組んで実験しました。粒の大きさ以外は条件をそろえることに苦労しながらも準備をして、正しく実験結果を出していました。簡単工作として、紙鉄砲を作って、できるだけ大きな音を出すにはどうすればよいかを何度も楽しみながら実験しました。



**算数 発展コース担当：中川 進学コース担当：朝井**

6月は、「わり算の筆算」から学習を開始しました。単元テストは、できていましたか。思った結果にならなかった人は、しっかりと計算練習をしましょう。その後、「折れ線グラフと整理」「大きい数」を学習しました。表やベン図を使って調べたことを整理する問題は、少しむずかしいですが、とても大切なところです。6月後半から「角の大きさ」に入りました。7月も継続してこの単元の学習を進めます。この単元では、角の大きさをはかるだけではなく、少し難易度の高い問題にもチャレンジしていきます。学年配当としては、5年生になる問題も取り入れます。7月中ごろから、「小数のしくみ」に進む予定です。大事な学習が続きますので、集中してがんばりましょう。

7月8日(水)に算数のテストがあります。進学コース・発展コース共通問題です。角度の計算がたくさん出題されますので、しっかりと復習をしておきましょう！角度をはかる問題や角度を作図する問題もありますので、分度器を忘れないようにしてくださいね！

**英語【発展コース】 担当：丹澤・辻澤・Kevin**

今年度より進学発展とクラスが分かれています。

発展クラスでは、特に『使える英語』を学び、その英語をコミュニケーションツールとして使うことを目的に行っていきます。そして、学園が大切にしている体験を加えた5技能を毎時間行っています。



今学期は2ヵ月間お休みだったことから、スタートが遅くなってしまいましたが、外国の方との交流をするために、今は下準備を行っております。交流する相手国の方はフィリピンに在住です。まずは、みんなで「フィリピンはどこにあるのか?」というところから調べはじめました。そしてグループにわかれて、興味があるものについて意見を出し合い、発表する内容を決めました。そこで「文化」という言葉について学習していく中で、子どもたちからは「国語みたいだね」という声があがりました。国語と英語は表裏一体です。思考母語を大切に、英語を学習するというスタイルはMJG ENGLISHの基本でもあります。毎時間調べ学習をした時には授業の中で発表し合い、課題を発見し、次回の授業へ活かすというスパイラル学習を組んでいます。まだスタートしたばかりですが、内容をしっかりとまとめ、7月中にはフィリピンの方へ日本語で発表できる形を作り、後に英語で発表や質問ができるように進めていきます。

中間発表の動画は右のQRコードを読み取ってご覧ください→



在児童限定

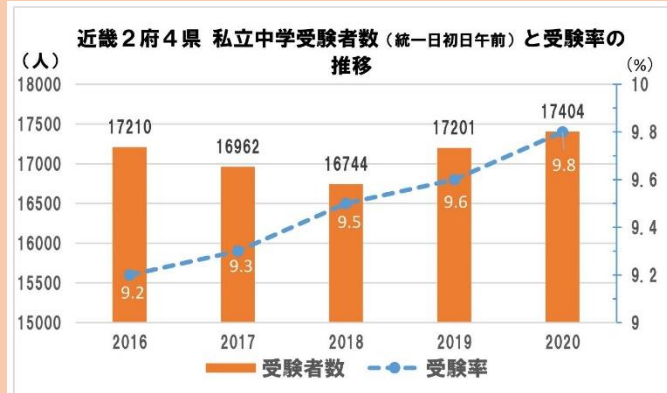


**『2020年度入試を振り返って』 入試企画室長 吉永 雅和**

2020年度私立中学入試では、少子化が進むなか、大阪では久しぶりに実受験者数が増えました。大きな要因としては、①大学入試改革による受験への不安 ②中学校入試方式の多様化の2点が考えられます。

1点目については、近年大学入試制度が二転三転していることも含め、新しい入試制度に対する漠然とした不安をお持ちの方が増えていらっしゃる事が推測されます。その結果進学指導・進路指導に手厚い私立学校を選られるご家庭が増えている。なかでも大学進学がほぼ保証される大学付属校の人気の数年前から高まっています。

	2016	2017	2018	2019	2020
受験率	9.2	9.3	9.5	9.6	9.8
受験者数	17210	16962	16744	17201	17404



2目については併設中学校にもあてはまりますが、中学入試の方式が多様化しています。特に小学校での教科化の流れをうけて、英語を入試科目とする中学校がかなり増えてきたことで、例えば中学受験対策に取り組んでいなかった英会話教室に通っている児童が受験を考えられるようになるなど、受験そのものへのハードルが下がってきたと言えます。

	2016	2017	2018	2019	2020
加点・優遇	7	15	26	42	48
英語入試	10	17	28	34	41

2021年度入試では、新型コロナの影響がどのように出るかはまだ不透明ですが、休校期間中の私立学校の対応への評価が高まっていることもあり、大きな減少は考えにくいのではないかと予想しています。



**【7月・8月の私立中学校**

**外部相談会】**

※箕自小調べですので、行かれる際には

ご家庭で詳細を調べてください。コロナ感染状況によっては、変更の可能性あり

日時		内容		場所
7月19日	日	サンケイリビング	中学・高校 川西地区 進学相談会	川西アステホール
		関西パド	私立中学・高等学校 合同説明会	豊中文化芸術センター
7月23日	木祝	朝日新聞社	中学・高校進学サポートフェア大阪	梅田スカイビル
7月24日	金祝	朝日新聞社	難関私立中学・高校進学相談会	ハービス大阪
8月29日	土	茨城・高槻教育研究会	中高入試相談会	高槻現代劇場3階
8月30日	日	サンケイリビング	中学・高校梅田地区進学相談会	阪急グランドビル26階

